

業務フロー・コスト分析等の結果に基づく業務改善事例			
独立行政法人名	年金積立金管理運用独立行政法人	部課室等名	管理部総務課
対象事業名	給与事務	実施期間	平成26年12月～平成27年2月
分析対象とした事務区分	給与計算等業務のうち、社会保険に関する業務		
分析実施の背景（問題意識等）	当法人では、すでに給与業務の一部を業務委託してきたが、社会保険業務については担当職員が業務を行っており、この業務は労務管理業務等との作業スケジュールが重なり、労力と時間を要している。また、人事異動等の要因から担当者が代わることにより業務に関する知識の習得等に時間を要することなどの問題点から給与業務の委託の範囲を見直す検討を実施した。		
分析により明らかになった点	<p>社会保険業務に関する各種届出書類の作成等の業務を委託することにより、担当職員が労務管理業務等への支障が少なくなると同時に、今まで社会保険業務にかけていた労力を他の管理業務に振り替えることが可能になったことから法人業務が円滑に行えるようになった。</p> <p>また、専門に取り扱っている業者へ委託することで、従来のような人事異動等により新たな職員が業務習得までに要していた時間を他の管理業務にまわすことができ、業務内容の充実化を図ることができた。</p> <p>さらに、委託業務の範囲を見直し業務が増えたにも関わらず、委託先を決めるにあたり、入札をしたことで若干の委託料の増額により実施できたことから、入札による競争原理が働いた効果も考えられる。</p>		
分析結果に基づき講じた改善措置	平成27年1月に給与計算委託業務に係る調達に関する公告をし、2月に委託契約を締結した。		
その効果	社会保険業務に係る労働時間を他の業務に充てられることにより、限られた人員で業務遂行し、逼迫している管理業務について、人員増の件費コストをかける事なく、業務内容の充実化及び効率化を今後も継続することが期待できる。		